

科目名 「 歯科診療補助論Ⅱ 」

学年	学期	科目責任者
1	後学期	中澤 広美
科目ナンバリング	C - 10-⑦-26	
単位数	2	
学修目標 (GIO)	歯科衛生士が行う歯科診療補助を理解し実践するために、共同動作ならびに歯科材料の取り扱いに必要な知識・技能・態度を修得する。	
担当教員	歯科生体材料学：谷本 安浩 岩崎 太郎 永田 俊介 専任教員：*中澤 広美 *門脇 明美 *和田 由紀子 *岡元 明菜 *多田 充裕副 校長 学事委員：*齋藤 真規	
教科書	前期に準ずる。 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』 『歯科材料』『歯科機器』全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版 (株) プリント配布	
参考図書	新歯科衛生士教本『歯科診療補助』『歯科診療補助 歯科材料の知識と取り扱い』	
評価方法 (E V)	最終評価は平常試験 (80%) ・レポート (10%) ・履修態度 (10%) で総合的に判断する。	
学生へのメッセージ	歯科材料を適切に取り扱うことができるように歯科生体材料学の講義・実習でその基礎を学ぶ。担当教員は歯科衛生士の実務経験を活かし、相互実習を通じて材料の取り扱いだけでなく、患者への対応の仕方・偶発事故の防止等について説明をする。手技は繰り返し訓練し、技能向上に努めること。医療人として体調管理を行い欠席しないよう心がけること。原則として欠席した場合、補講は行わない。	
オフィスアワー	17:00~18:00 教員室	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/5 (水)  第2回 10/12 (水)  第3回 10/19 (水)	共同動作Ⅱ	臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 <b>【授業の一般目標】</b> 歯科診療の場での共同動作に必要なバキュームテクニック、スリーウェイシリンジテクニックを修得する。 <b>【行動目標 (SBOs)】</b> ・診療に応じたバキューム操作ができる。 <input type="checkbox"/> スリーウェイシリンジを正しく使用できる。 ・歯科診療におけるフォーハンドを実施できる。 <b>【準備学修項目・時間】</b> 予習：30分：対ヒトに行うにあたり患者への配慮、声掛けについて学修をする。 復習：30分：前期で習得したバキュームテクニック、スリーウェイシリンジテクニックを復習する。 <b>【アクティブラーニングの有無】</b> 有：実習、ディスカッション <b>【学修方略 (LS)】</b> 講義・実習	*中 澤 *門 脇 *齋 藤 *岡 元

<p>第4回 10/26 (水)</p>	<p>歯科材料総論 合着用セメント</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科材料を適切に取り扱えるようになるため、歯科臨床における歯科材料の役割および特徴について理解する。 合着用セメントを適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 歯科材料の種類および性質について説明できる。 合着用セメントの種類、組成、硬化機構および特徴について説明できる。 リン酸亜鉛およびガラスイオノマーセメントの練和方法、硬化時間および硬化に伴うpH変化について説明できる。 【準備学修項目・時間】 歯科材料と臨床との係わり合いについて説明できるようにすること。 合着用セメントの歯科臨床における用途および特徴について説明できるようにすること。 【アクティブラーニングの有無】 有：実習 【学修方略 (LS)】 講義、実習</p>	<p>谷岩永 本崎田</p>
<p>第5回 11/2 (水)</p>	<p>主要歯科材料の取り扱い I 1) 合着・接着材 2) 仮封材 3) 実習</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 診療の場で最もよく使用される歯科用セメントの取り扱いができるようになるための知識・技能を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・合着、接着材の種類がわかる。 ・合着材、接着材の取り扱い・練和ができる。 ・仮封材の種類がわかる。 ・仮封材の取り扱い・練和ができる。 【準備学修項目・時間】 予習30分：最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』Ⅱ編4章『歯科材料』Ⅱ編4章6章を読んでおくこと。(30分) 復習30分：第4回の講義および実習振り返り、セメントの種類、組成、硬化機構および特徴について、使用道具、練和方法を復習すること。 【アクティブラーニングの有無】 有：実習、ディスカッション 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>*中 澤 *門 脇 *副校長 *齋藤 *岡 元</p>
<p>第6回 11/9 (水)</p>	<p>印象材</p>	<p>【授業の一般目標】 印象材を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 印象材の種類、組成、硬化機構および特徴について説明できる。 アルジネートおよびシリコンゴム印象材の練和方法および硬化時間について説明できる。 【準備学修項目・時間】 印象材の歯科臨床における用途および特徴について説明できる。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 有：実習 【学修方略 (LS)】 講義、実習</p>	<p>谷岩永 本崎田</p>

<p>第7回 11/16 (水)</p>	<p>模型材</p>	<p>【授業の一般目標】 模型材を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 模型材の種類, 組成, 硬化機構および特徴について説明できる。 石膏の練和方法, 硬化時間および硬化膨張について説明できる。 【準備学修項目・時間】 模型材の歯科臨床における用途および特徴について説明できる。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 有: 実習, グループワーク 【学修方略 (LS)】 講義, 実習</p>	<p>谷 本 岩 崎 永 田</p>
<p>第8回 11/30 (水)</p>	<p>主要歯科材料の取り扱い II 1) 印象材練和実習 2) 歯科用石膏注入実習 3) スタディモデル作製</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 主要歯科材料の取り扱いができるようになるための知識・技能を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 <input type="checkbox"/> 印象材の種類とその特徴を列挙し, 取り扱いができる。 <input type="checkbox"/> 歯科用石膏の種類, 用途を列挙し, 取り扱いができる。 ・印象採得の方法・手順を実施することができる。 <input type="checkbox"/> スタディモデルの使用目的, 作製方法を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習30分: 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』II編4章『歯科材料』II編2.3章を読んでおくこと。 復習30分: 第7回の講義・実習内容を十分復習して臨むこと。(60分) 【アクティブラーニングの有無】 有: 実習, ディスカッション 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>*中 澤 *門 脇 *和 田 *副校長 *齋 藤</p>
<p>第9回 12/7 (水)</p>	<p>主要歯科材料の取り扱い II 1) 印象材練和実習 2) 歯科用石膏注入実習 3) スタディモデル作製 実習</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 主要歯科材料の取り扱いができるようになるための技能を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 <input type="checkbox"/> マネキンにて上下 印象採得が実施できる。 <input type="checkbox"/> マネキンにて作製した印象体を用いて石膏注入ができる。 <input type="checkbox"/> スタディモデル作製ができる。 【準備学修項目・時間】 予習30分: 全顎トレーの形, 印象採得の仕方, 印象面の処理の仕方について学ぶこと。 復習30分: アルジネート, 石膏それぞれの特徴及び取扱い, 作業方法を復習すること。 【アクティブラーニングの有無】 有: 実習, ディスカッション 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>*中 澤 *門 脇 *和 田 *副校長 *齋 藤</p>

<p>第10回 12/14 (水)</p> <p>第11回 12/21 (水)</p> <p>第12回 1/11 (水)</p>	<p>主要歯科材料の取り扱い Ⅲ</p> <p>1) 印象採得実習</p> <p>2) 石膏注入実習</p> <p>3) スタディーモデル作製</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。  <b>【授業の一般目標】</b>          口腔内を再現した印象採得・スタディモデル作製ができるようになるための技能・態度を修得する。  <b>【行動目標 (SB0s)】</b>  <input type="checkbox"/> 相互実習にて上下 印象採得が実施できる。  <input type="checkbox"/> 相互実習にて作製した印象体を用いて石膏注入ができる。          ・モデルトリーマーの取り扱いができる。  <input type="checkbox"/> スタディモデル作製ができる。          ・スタディモデルの保管ができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>          予習30分：対ヒトに行うにあたり、患者への配慮、声掛け、偶発事故の対応について学ぶこと。          復習30分：術者、補助者それぞれの役割を理解するために、第6回～9回の内容を総復習すること。  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          有：実習、ディスカッション  <b>【学修方略 (LS)】</b>          実習</p> <p>※完成した模型を利用し、第13回でレジン床を作製する。          ※12月14日は2時間目から開始する。          ※1月11日（1コマ分）は保健指導論に振り替える。</p>	<p>*中 澤 *門 脇 *和 田 *副 長 *齋 藤</p>
<p>第13回 1/18 (水)</p>	<p>補綴装置と材料（鋳造体・義歯の作製）レジン床作製</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。  <b>【授業の一般目標】</b>          鋳造体および義歯を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。  <b>【行動目標 (SB0s)】</b>          歯科用金属および床用材料の種類、組成および特徴について説明できる。          レジン床の作製工程について説明できる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>          歯科用金属および床用レジンと歯科臨床における用途および特徴について説明できる。（60分）  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          有：実習  <b>【学修方略 (LS)】</b>          講義、実習</p> <p>*作製したレジン床は2学年臨床実習Ⅰで使用するため保管すること。</p>	<p>谷 本 岩 崎 永 田</p>
<p>第14回 1/25 (水)</p>	<p>成形歯冠修復材料</p>	<p><b>【授業の一般目標】</b>          成形修復材料を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。  <b>【行動目標 (SB0s)】</b>          成形修復材料の種類、組成および特徴について説明できる。          化学重合型および光重合型コンポジットレジンとガラスイオノマーセメントの硬化機構および硬化時間について説明できる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>          成形修復材料の歯科臨床における用途および特徴について説明できる。（60分）  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          有：実習  <b>【学修方略 (LS)】</b>          講義、実習</p>	<p>谷 本 岩 崎 永 田</p>

<p>第15回 2/1 (水)</p>	<p>仮封材, ワックス歯科材料の科学</p>	<p><b>【授業の一般目標】</b>  仮封材およびワックスを適切に取り扱えるようになるため, その一般的性質について理解する。  歯科材料を適切に取り扱っていく上で必要な知識を習得する。</p> <p><b>【行動目標 (SB0s)】</b>  仮封材およびワックスの種類, 組成および特徴について説明できる。  歯科材料の物理的, 機械的, 化学的および生物学的性質について説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目・時間】</b>  仮封材およびワックスの歯科臨床における用途および特徴について説明できる。  歯科材料における素材別の特徴について説明できる。  (60分)</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無】</b>  無</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b>  講義</p>	<p>谷 本</p>
-------------------------	-------------------------	--	------------